

# 環境との共存・調和を実現するために、 全社をあげて環境保全活動に取り組んでいます。

## 背景と経緯

シヤチハタでは、創業以来、永く使い続けることができる高品質の商品をお届けしてきました。インキを補充することで繰り返し使える「ロングライフ・クオリティ」の考え方は、省資源にもつながります。このような商品の品質を世界的な規格で管理するため、1993年に、当時の天塚工場において品質保証の国際規格「ISO9002」を取得。その後、生産本部・開発事業・シヤチハタマレーシアに拡大し、現在では「ISO9001」の認証を取得しています。また、稲沢工場（生産本部）では、2000年に環境マネジメント規格「ISO14001」の認証を取得。地球社会の一員として、社員一人ひとりが環境保全活動に取り組んでいます。

## 環境方針

### 環境憲章

シヤチハタはコミュニケーション文化創造企業として、地球環境問題を「企業の社会的責務」と認識し、低炭素社会づくりを目指します。また、企業活動と環境との共存・調和を基本理念に掲げ、「環境に優しい負荷低減型」の商品・サービスを提供することによって環境保全に貢献します。

### 行動指針

1. 環境とヒトに優しい生活文化製品を創造し、製造していく過程において、地球環境にとって最良の方法を追求します。
2. 環境活動を経営上の重要課題と認識し、全社員が真剣に取り組む推進していきます。
3. 環境関連法令およびその他要求事項を遵守することはもとより、積極的に自主管理基準を定め、環境汚染の予防に努めます。
4. 目的・目標を定め、環境管理を行うと共に、環境監査などを通じた定期見直しにより、環境保全の維持及び継続的改善を行います。
5. この環境方針は、全社員に対し理解と意識の高揚のため、周知徹底することはもちろん、広く一般に公開いたします。

代表取締役社長 舟橋正剛

## 経営理念

シヤチハタは、創業以来、創業者の志を示した経営理念を踏襲してきました。これからも、その哲学を堅持します。

- 常に未来への理想を探求し新しい発想に基づき、国際社会への貢献を一層高める。
- 時は生命である。企業経営は、時間との戦いである。
- 創造力を逞しくし、目的・課題を十分に理解し、体当たりで実行せよ。
- 先んずればヒトを制す。先鞭をつけていくところに、栄光の道は開ける。

## 環境マネジメントシステム体系

- **全社**：本社をはじめ、工場・営業拠点などが連携し、環境保全活動に取り組む。
- **稲沢事業所（生産本部）**：2000年9月にISO14001認証取得。



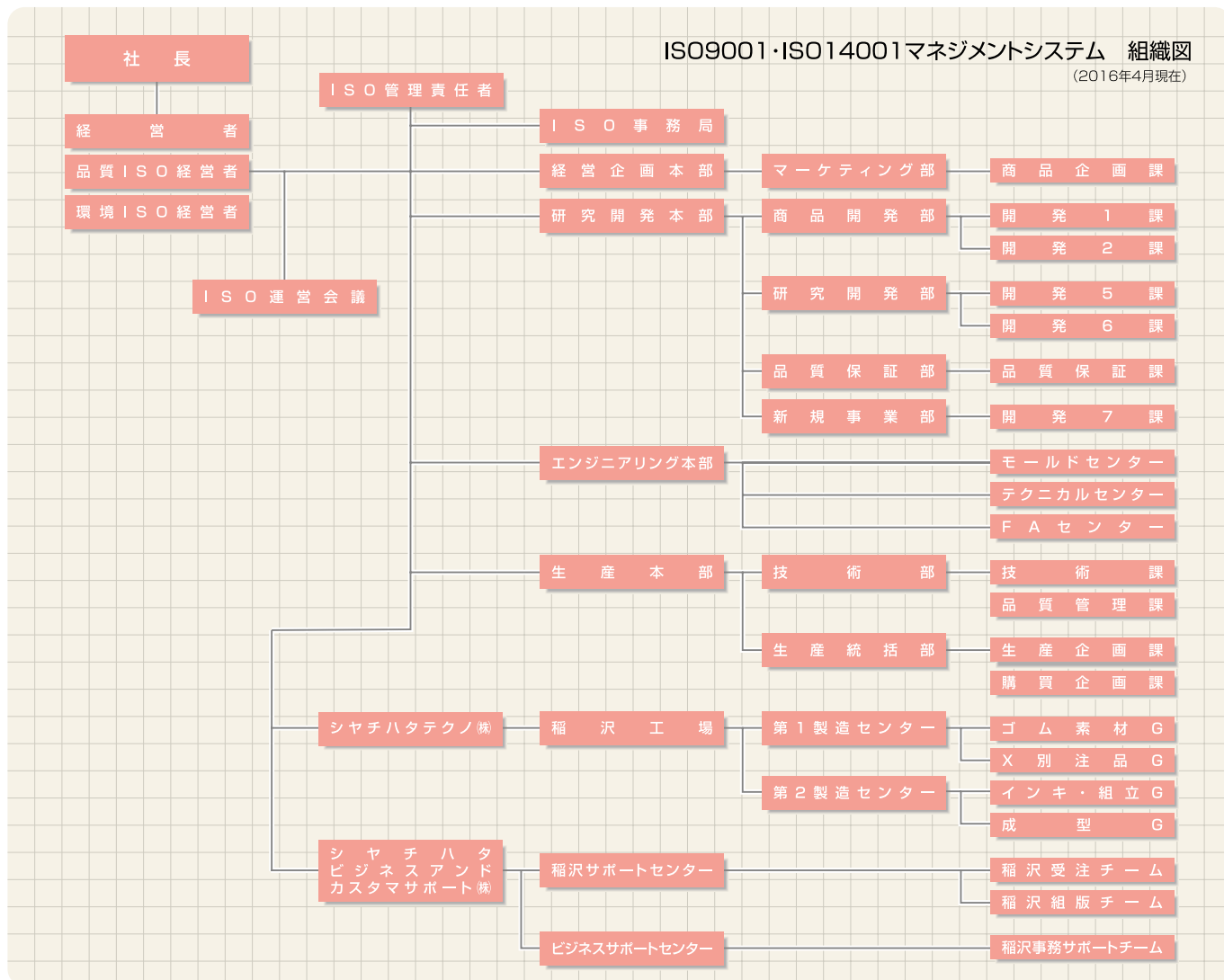
稲沢工場全景

### 工場概要

所在地 〒492-8102 稲沢市子生和神明町37  
TEL 0587-24-5805 FAX 0587-24-1030  
敷地面積 16,400m<sup>2</sup>  
延床面積 13,900m<sup>2</sup>  
従業員数 338名（2016年3月現在）

## ISO9001・ISO14001マネジメントシステム 組織図

(2016年4月現在)

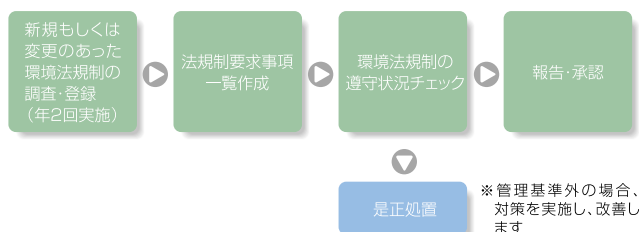


### 環境監査

内部環境監査では、主任監査員の指示のもと年1回の内部環境監査を実施しています。マネジメントシステムの有効性や法令遵守状況の確認、マネジメントプログラムの進行等を確認し、是正処置を講じるなど、継続的に改善しています。また、外部環境審査では、年1回の第3者審査機関によるISO14001認証維持審査を受け、「ISO14001の要求事項に引き続き適合し、運用され、継続的に改善が図られている」との評価を得ています。

### 法規制対応

#### ●環境法令監視システム



上記のように環境法令監視システムを設け、是正点があった場合は、速やかに対処できる体制を取っています。2015年度は、環境関連の法令などの違反および事故、訴訟はありませんでした。

### リスクマネジメント

ISO14001に基づく「緊急事態」訓練はもちろん、色水排水地下タンクからの汚泥排出防止や廃油処理の改善、塩酸タンク上部からのガス流出防止の強化などを実施しています。

### 環境教育

ISO14001の認証と維持について年1回の新入社員教育の他、全体教育として、新入社員研修・マネジメントプログラム教育・緊急事態教育や、環境業務運用設備・工程に関する部署単位教育などを行っています。さらに、毒劇物・危険物の取り扱いなど、環境全体勉強会を随時開講し、社員一人ひとりの環境意識を高めています。また、社内資格者として、内部環境監査員／環境設備取扱者教育を行っています。

●公害防止管理者	2名	●危険物取扱主任者	42名
●特別管理産業廃棄物責任者	2名	●衛生管理者	5名
●有機溶剤作業主任者	19名	●ボイラー取扱主任者	4名
●特定化学物質作業主任者	3名		
●防火管理者	6名		

(2016年3月現在)